

政策	豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実	施策	子どもの可能性を伸ばす教育の充実	基本事業	教育内容の充実
----	--------------------	----	------------------	------	---------

部名	教育部	事業開始年度	昭和63年度	区分1	継続	実施計画事業認定	非対象
課名	学校教育支援室 学校教育課	事業終了年度	- 年度	区分2	単独		

事務事業の目的と成果	
対象	市内中学校生徒
意図	外国人とコミュニケーションをとる機会を提供することにより、生徒の基礎的・実践的コミュニケーション能力(聞く話す読む書く)の向上を図る。
手段	市内中学校で英語の授業を行う際に、外国語指導助手(ALT)を派遣し、ティーム・ティーチングを行う

事業量・コスト指標の推移							
区分		単位	21年度実績	22年度実績	23年度予算	24年度予算	目標
対象指標1	中学校生徒数	人	3,924	3,779	3,666	3,578	
対象指標2							
活動指標1	外国語指導助手人数	人	2	2	2	2	
活動指標2	ALTによる1クラス当たりの授業時数(年間)	時間	7.8	7.8	7.8	7.8	
成果指標1	英語の総授業時数のうちALTが授業に入った割合	%	7.8	7.9	7.8	7.9	
成果指標2							
単位コスト指標							
事業費計(A)		千円	7,940	8,762	9,766	8,931	0
正職員人件費(B)		千円	1,660	1,612	1,629	1,619	0
総事業費(A)+ (B)		千円	9,600	10,374	11,395	10,550	0

事業単独評価、施策内での相対評価、財政状況に基づく改革案(2月時点)

24年度への業務改善方向性

維持	見直し	新規	休廃止	その他
----	-----	----	-----	-----

- 維持: 現状の目的や方法に変更がなかつ24年度実施する事業
- 見直し: 現状の方法や事業量を見直し、成果指標の向上やコスト改善をおこなう事業
- 休廃止: 22年度もしくは23年度に「休止」、「廃止」、「終了」する事業
- 新規: 24年度より新たに新規事業として実施する事業

		改革方向性(コスト)		
		減少	維持	増加
改革方向性(成果)	向上			
	維持			
	放低下			